

# **MEE**

受付案内システム

形名

CA-15MOH3

CA-15TEH2-M

取扱説明書

**コン コン コール**  
Computer Conducting Call System  
**モジュールタイプ**

このたびは、受付案内システム「コンコンコール」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき、機能・取扱い方法などを十分ご理解の上、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

また、ご不明な点につきましては、販売代理店または弊社営業所までご相談ください。

- 本製品をご使用になる前には、必ず「1.1)安全のために必ず守ること」および「1.2)使用にあたってのお願い」をよくお読みになり正しくお使いください。

#### [お願い]

- 本書は、必要に応じていつでもご覧になれるよう大切に保管してください。
- 本書を適用しないで生じた間接障害を含めたいかなる損害についても責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容の一部または全ての無断転載、無断複写は禁止されています。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら、お手数ですが弊社営業窓口または、技術的な問合せ窓口までご連絡ください。
- 本書の内容およびシステムを構成する機器、仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品は日本国内専用ですので日本国外では使用できず、また アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.No servicing is available outside of Japan.

#### [保証について]

- 本書の注意書きに基づく正常な使用状態のもとで、保証期間内に万一故障し弊社がそれを認めた場合、無償にて故障箇所の修理または交換をいたします。
  - 本製品を正しく安全にご使用いただくため、「1.1) 安全のために必ず守ること」を必ずお守りください。
- これらの注意事項に反した取扱いにより生じた損害について、当社は責任と保証を致しかねます。

# 目次

<b>1</b>	<b>ご使用になる前に</b> .....	<b>1</b>
1)	安全のために必ず守ること.....	1
2)	使用にあたってのお願い.....	3
◆	設置場所についての注意.....	3
◆	使用時の注意.....	3
◆	システム使用許諾契約について.....	3
◆	寿命について.....	3
◆	保守契約について.....	3
3)	コンコンコール モジュールタイプとは.....	3
4)	使用前の準備.....	4
◆	必ず用意するもの.....	4
◆	あると便利なもの.....	4
5)	画面構成と操作方法.....	5
<b>2</b>	<b>起動と終了</b> .....	<b>9</b>
1)	システムの起動・終了方法.....	9
2)	メインプログラムの起動・終了方法.....	9
3)	自動起動・自動終了.....	9
4)	画面の3点タッチ(システムメニュー).....	10
5)	管理メニュー.....	11
<b>3</b>	<b>初期設定</b> .....	<b>12</b>
1)	ドライブプロテクトについて.....	12
◆	プロテクトのOFF操作.....	12
◆	プロテクトのON操作.....	12
2)	ネットワーク設定.....	13
3)	音量の調整.....	13
4)	電話回線のダイヤル方式がパルスの場合.....	13
5)	人感センサー反応速度の調節.....	13
6)	待ち受け画面設定ツール.....	14
<b>4</b>	<b>自動起動・自動終了時刻の設定</b> .....	<b>15</b>
1)	スケジュール運転管理画面.....	15
2)	スケジュールの編集.....	16
3)	注意点.....	18
◆	24時間運転する場合.....	18
◆	システム停止時の停電または瞬時停電.....	18
◆	システム停止時の起動.....	18
◆	時計補正のお願い.....	18
<b>5</b>	<b>部門・担当者データの登録・修正方法</b> .....	<b>19</b>
1)	データメンテナンス画面.....	19
2)	内線データの新規登録.....	21
3)	内線データの登録内容変更.....	21
4)	内線データの表示順・階層変更.....	22
5)	内線データの削除.....	23
6)	内線データの保存.....	23
7)	更新日時を予約して保存.....	23
8)	更新予約日時の管理.....	23
9)	外部データベース書き出し.....	24

10) 外部データベース取り込み .....	25
11) テキストファイル出力 .....	25
12) テキストファイル入力 .....	26
13) Excel ファイルから部門・担当者データを取り込む .....	27
14) お手持ちのパソコンでデータをメンテナンスする .....	30
◆ メンテナンスツールのインストール .....	30
◆ USBメモリ等を使用する場合 .....	31
◆ ネットワークに接続している場合 .....	32
<b>6 データのバックアップ/復旧 .....</b>	<b>33</b>
1) バックアップ .....	33
2) 復旧 .....	33
<b>7 こんなとき .....</b>	<b>34</b>
1) 文字を入力する(ソフトウェアキーボード) .....	34
2) 右クリック操作をする .....	34
3) タッチ位置を補正する(キャリブレーション) .....	34
4) お手入れ .....	35
◆ 外装清掃時 .....	35
◆ タッチパネル清掃時 .....	35
5) 「故障かな?」と思ったら .....	36
◆ 起動に関するトラブル .....	36
◆ 動作に関するトラブル .....	36
<b>8 付録 .....</b>	<b>37</b>
1) 保証とアフターサービス .....	37
◆ お問い合わせ先 .....	37
◆ 保証書について .....	37
2) 仕様 .....	38
◆ ハードウェア仕様 .....	38
◆ ソフトウェア仕様 .....	39


# 1 ご使用になる前に


## 1) 安全のために必ず守ること

- ◆ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。


誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

**警告**


 **警告**

 可燃性、爆発性ガスまたは蒸気のある場所では使用しない。  
(爆発や火災の原因になります)


禁止

 電子機器の使用が制限または禁止されている場所（病院など）では使用しない。  
(電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因になります)


禁止

 開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしない。  
(火災や感電の原因になります)


禁止

 製品に水をかけたりしない。  
(火災や感電の原因になります)


水かけ禁止

 発煙、異音・異臭がしたらすぐに電源プラグをコンセントから抜く。  
(異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災等の原因になります)


厳守

 交流100Vを使用する。  
(交流100V以外を使用すると、発熱による火災の原因になります)


厳守

 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
(感電することがあります)


禁止

 本製品を分解・改造・修理しない。  
(火災・感電・けがの原因になります)

分解禁止

 落雷時は、モジュラケーブルや通信ケーブルに手を触れない。  
(感電することがあります)

禁止

 下記目的のために使用しない。  
核施設・航空機の航空制御もしくは離着陸の管制システム・自動車やバスの運転・船舶の航行・生命維持装置のような、生命・身体・健康に影響をおよぼす環境下における、オンライン制御装置

禁止



## 注意

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの



禁止

以下のような場所で使用しない。

- ・ 狭く熱のこもる場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 湿気やホコリが多い場所
- ・ 温度差の激しい場所
- ・ 熱器具に近い場所
- ・ 水気が多い場所
- ・ 振動や衝撃が加わる場所
- ・ 不安定な場所
- ・ 強い磁力電波が発生するものに近い場所



禁止

タッチパネルに衝撃や過度の力を与えない。  
(ガラスが破損してけがの原因になります)

万が一液晶パネルが破損した場合、内部の液体に触れた手で目をこすらないでください。内部の液体が目に入った場合は、すぐに流水で15分洗浄した後、医師にご相談ください。



禁止

接続線をつけたまま移動しない。  
(転倒によりけがをすることがあります)



電源プラグ  
を抜く

電源プラグを持って抜く。  
(コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります)



厳守

電源プラグのほこりなどは定期的にとる。  
(漏電火災の原因になります)



電源プラグ  
を抜く

お手入れの際は電源プラグを抜く。  
(感電することがあります)



禁止

他の機器と接続しない。(電源・交換機(内線)・LAN・セキュリティ制御装置のみ接続可)



禁止

付属品のセットアップCD-ROMを、オーディオ用CDプレイヤーで再生しない。  
(大音量により耳に傷害を与えたり、スピーカーを破損することがあります)

## 2) 使用にあたってのお願い

### ◆ 設置場所についての注意

以下のような場所で使用しないでください。

- ・ 狭く熱のこもる場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 湿気やホコリが多い場所
- ・ 温度差の激しい場所
- ・ 熱器具に近い場所
- ・ 水気の多い場所
- ・ 振動や衝撃が加わる場所
- ・ 不安定な場所
- ・ 強い磁力電波が発生するものに近い場所

### ◆ 使用時の注意

以下の項目を守り、正しくお使いください。

- ・ 交流100Vを使用する
- ・ 他の機器と接続しない（電源・交換機（内線）・LAN・セキュリティ制御装置のみ接続可）
- ・ シャープペンやドライバーなど、先の鋭利なものでタッチパネルを押さない
- ・ 本製品を分解・改造しない
- ・ お手入れの際に電源を切る
- ・ 製品を移動する場合は電源を切り、接続を外す

### ◆ システム使用許諾契約について

受付案内システムはお客様と弊社との間で、システム使用許諾契約を締結することによって、ご利用になります。システム使用許諾契約の内容については、本書の最後に記載されておりますので、必ずお読みください。ご同意いただいた場合に限り、ご使用の開始ができます。

### ◆ 寿命について

設計寿命は、特に指定のない場合、週日(週日とは土・日・休日を除く平日)12時間使用で約6年です。

但し、ご使用場所の環境や運転時間などにより、早期の部品交換が必要となる場合があります。

また、製品に使用している構成部品には、定期的な交換が必要な部品や、場合によりオーバーホールが必要な部品があります。(バックライト、時計機能用ボタン電池)

### ◆ 保守契約について

無償保証期間外の有償修理をご要望される場合は、保守契約を結ぶことをお勧めいたします。

保守契約できる期間は販売から6年間です。(無償保証期間終了後5年間)

詳しくは当社営業窓口またはお買い上げの販売店へお問い合わせください。

## 3) コンコンコール モジュールタイプとは

コンコンコール モジュールタイプ（以下コンコンコール）はオフィス内での受付業務を代行するシステムです。

来訪者は画面およびガイダンスに従い、画面をタッチするだけで目的の担当者と受話器を通じて会話をすることができます。

画面にはメッセージ(会社名等)を表示することができ、来客が無い状態ではBGM(バックグラウンドミュージック)を流し、企業イメージのアップなどに効果があります。

## 4) 使用前の準備

### ◆ 必ず用意するもの

- 電源コンセント(AC100V)
- アナログ式(2芯)の内線用の回線
  - ✓ デジタル内線の場合、電話交換機にアナログカードまたはデジタル→アナログ変換アダプターを追加することで対応できます。
  - ✓ IP電話の場合、VoIPアダプターまたはVoIPゲートウェイを追加することで対応できます。

### ◆ あると便利なもの

- 構内LANからのLANケーブル 1本
  - ✓ LAN経由でのデータメンテナンスが利用できます。
- データのメンテナンスに使用するパソコン1台, USBで接続するメモリ1個  
(製品本体でデータのメンテナンスをする場合は必要ありません)



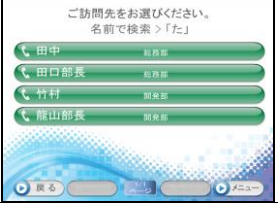
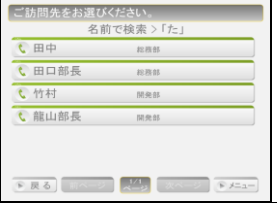








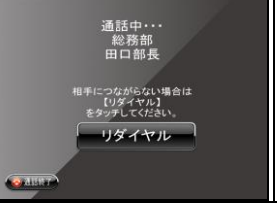

## 5) 画面構成と操作方法

ここでは標準コンテンツを例にコンコンコールの画面構成と操作方法を説明します。  
各画面は人感センサーの検知がなく、タッチ操作がない状態が一定時間続くとタイトル画面に戻ります。  
尚、アクア調、ポップ調、シック・メタル調、スタンダード調のシステム導入後の変更はできません。

	アクア調	ポップ調	シック・メタル調	スタンダード
起動画面				
	<p>起動画面中央にコンコンコールの起動状況が表示されます。 起動後はタイトル画面から始まります。</p>			
動画画面				
	<p>タイトル画面で人感センサーの検知がない状態が一定時間続くと動画画面に変わります。 画面をタッチ又は人感センサーの検知でタイトル画面に変わります。 ◆ 動画は日替わり4パターンです。</p>			
タイトル画面				
	<p>BGM が再生されます。 人感センサーの検知でアナウンス「いらっしゃいませ 画面に軽くタッチしてください」が再生されます。 来客向けのメッセージ(会社名等)を表示します。 画面をタッチするとメニュー画面に変わります。 ◆ スタンダードは四季に応じた背景が日替わりで表示されます。(114パターン)</p>			

1.ご使用になる前に

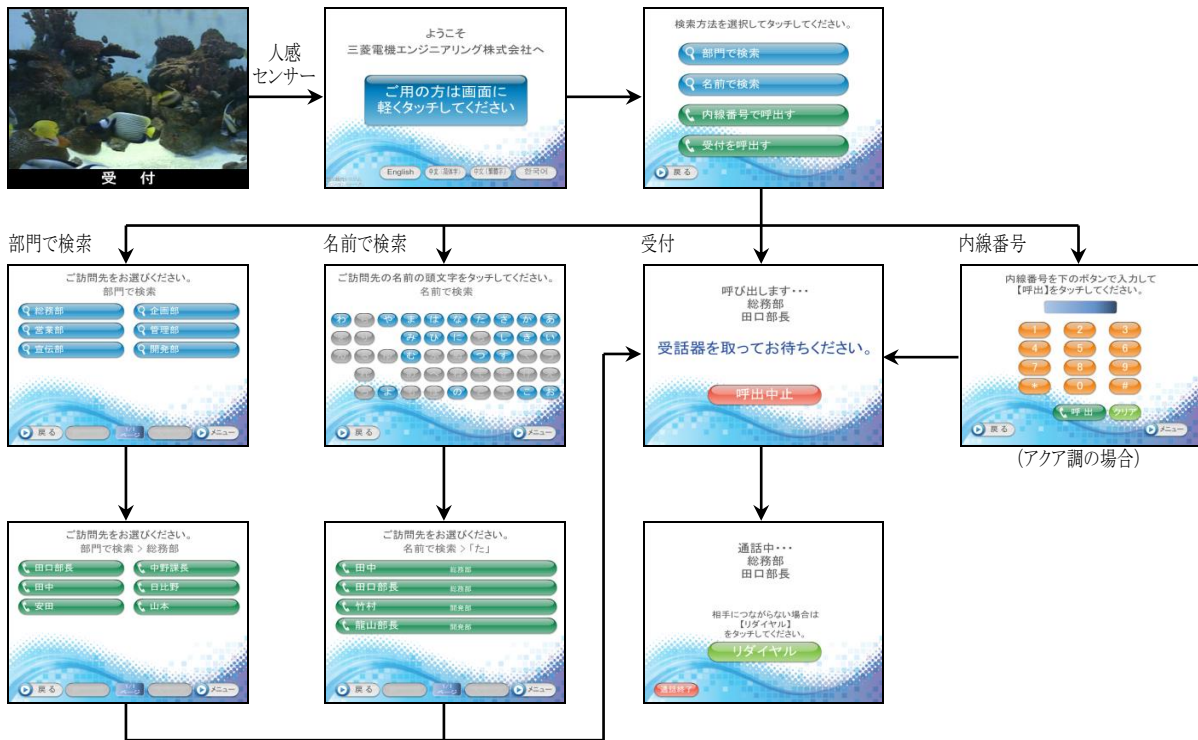
	アクア調	ポップ調	シック・メタル調	スタンダード
メニュー画面・内線番号入力画面				
	<p>アナウンス「ご用向きにより画面に軽くタッチしてください」が再生されます。</p> <p>「部門で検索」をタッチすると部門検索画面に変わります。</p> <p>「名前で検索」をタッチすると担当者の頭文字検索画面に変わります。</p> <p>「受付を呼び出す」をタッチすると呼び出し中画面に変わり、庶務(総務)部門などの代表を呼び出します。</p> <p>数字の部分タッチすると直接内線番号を指定することができます。</p> <p>「呼出」をタッチすると呼び出し中画面に変わり、指定した内線番号を呼び出します。</p> <p>指定する内線番号を間違えた場合、「クリア」をタッチし再度内線番号を指定します。</p>			
部門検索画面				
	<p>アナウンス「ご訪問先をお選びください」が再生されます。</p> <p>コンコンコールに登録されている部門の一覧が表示されます。呼び出したい担当者の所属する部門をタッチすると担当者検索画面に変わり所属する担当者の一覧が表示されます。</p> <p>登録されている部門が1画面に収まらない場合、「前ページ」、「次ページ」をタッチすることで残りの部門を表示させることができます。</p> <p>この画面はデータ登録状況によって、最大7階層まで登録できます。</p>			
頭文字検索画面				
	<p>アナウンス「名前の頭文字をお選びください」が再生されます。</p> <p>コンコンコールに登録されている担当者名の頭文字が表示されます。</p> <p>頭文字をタッチすると担当者検索画面に変わります。タッチした頭文字に該当する担当者の一覧が表示されます。</p>			

	アクア調	ポップ調	シック・メタル調	スタンダード
担当者検索画面				
	<p>アナウンス「ご訪問先をお選びください」が再生されます。</p> <p>頭文字検索画面で絞り込まれた担当者の一覧が表示されます。</p> <p>呼び出したい担当者をタッチすると、呼び出し中画面に変わり担当者を呼び出します。</p> <p>◆ 絞り込まれた担当者が1画面に収まらない場合、「前ページ」、「次ページ」をタッチすることで残りの担当者を表示させることができます。</p>			
呼び出し中画面				
	<p>アナウンス「受話器をお取りください」が再生されます。(受話器をすでに取っている場合は「ただいま呼び出しております。しばらくお待ちください」が再生されます。)</p> <p>受話器を取るとアナウンス「ただいま呼び出しております。しばらくお待ちください」が再生されます。</p> <p>呼び出している担当者、所属部門を表示します。(直接内線番号を指定した場合は内線番号を表示します。)</p> <p>「呼出中止」をタッチすると呼び出しを中断して一つ前の画面に戻ります。</p>			
通話中画面				
	<p>呼び出した内線番号が電話に出ない場合、「リダイヤル」をタッチすることで登録されている次の内線番号を呼び出します。</p> <p>受話器を置くとタイトル画面に戻ります。</p> <p>「通話終了」をタッチすると強制的に通話を終了させメニュー画面に戻ります。</p> <p>電話がつながったままで、人感センサーの検知がなく、タッチ操作がない状態が一定時間続くとタイトル画面に変わります。</p>			

**参考:** 画面に表示される文字・ボタンの色の変更、一定時間経過後の画面が戻る時間の変更、背景やBGMの変更等はコンコンコール システムメンテナンスで行うことができます。詳細は「カスタマイズ説明書」を参照してください。

# 1.ご使用になる前に

## ◆ 画面遷移図



- 各画面の[戻る]ボタンで1つ前の画面へ
- 各画面の[メニュー]ボタンで「メニュー画面」へ
- 各画面一定時間無操作で「タイトル画面」へ

## 2 起動と終了

### 1) システムの起動・終了方法

本製品はシステムの設定により、電源が供給された時点で起動する設定となっています。

#### ◆ 起動方法

コンセントに電源プラグを差し込んでください。

(すでにコンセントに差さっている場合は、一旦抜いてから差し込んでください。)

#### ◆ 終了方法

電源プラグを抜いてください。

(本製品はハードディスクを使用していないため、システムドライブプロテクトONの状態であれば、電源供給を遮断することで端末を終了できます。ドライブプロテクトについては「3.1) ドライブプロテクトについて」を参照してください。)


**お願い:** 電源供給の遮断による終了は必ずシステムドライブプロテクトONの状態で行ってください。(「3.1) ドライブプロテクトについて」参照) また、データの書き込みを行っていないことを確認して終了してください。書き込み中に電源が切断されると、ドライブのファイルシステムやデータが破壊される恐れがあります。

### 2) メインプログラムの起動・終了方法

登録データの編集やシステムの設定を行う際には、メインプログラムを終了し Windows 画面で操作を行います。

#### ◆ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- デスクトップ上の「コンコンコール6.1 管理メニュー」ショートカットアイコン()を実行し、**コンコンコール メイン** を選択します。
- Windowsの「スタート」メニューから **すべてのプログラム(P) - コンコンコール Ver6.1 - コンコンコール6.1 メイン** を選択します。

#### ◆ 終了方法

画面の3点タッチ(システムメニュー)から **Windows に戻る** を選択します。

画面の3点タッチ(システムメニュー)については、「4) 画面の3点タッチ(システムメニュー)」を参照してください。

**参考:** キーボードを接続している場合はキーボードの「Esc」キーでメインプログラムを終了させることができます。

### 3) 自動起動・自動終了

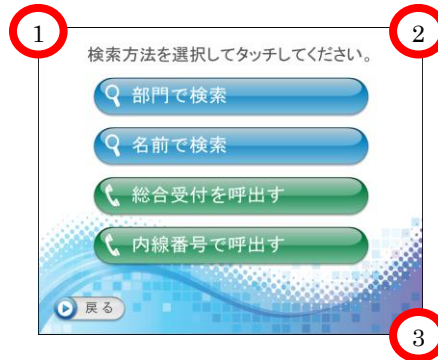
スケジュール運転管理プログラムにより設定時刻に起動・終了を行います。

スケジュール運転管理プログラムについては、「4. 自動起動・自動終了時刻の設定」を参照してください。

**参考:** スケジュール運転管理では、モニターをOFFにすることでシステムの停止を行っています。システム停止中に停電または瞬時停電等で電源供給が遮断され、その後再度電源が供給された場合には設定時刻に関係なく一時的にシステムが起動しますが、自動的にシステム停止状態となります。

## 4) 画面の3点タッチ(システムメニュー)

画面の3隅をタッチし、パスワードを入力することでデータの取り込み、プログラムの終了等の操作ができます。



- ① 各画面で3隅を順にタッチするとパスワード入力画面が開きます。  
パスワード入力画面が表示されない場合は再度、順にタッチしてみてください。
- ② パスワードの初期値は「9999」に設定してありますので「9999」を入力し、**OK** をクリックします。



- ③ システムメニュー画面が開きますので目的の項目を選択してください。
  - データ取り込み** ……データベースファイルの取り込みを行います。
  - Windowsに戻る** ……コンコンコールのプログラムを終了し、Windows画面に戻ります。
  - 停止** ……システムを停止します。
  - 停止解除** ……システムの停止を解除します。(停止状態の時に表示されます)
  - 再起動** ……システムの再起動を行います。
  - 電源OFF** ……システムの電源を切ります。(スケジュール運転管理の環境設定にて「電源 OFF を有効にする」にチェックが入っている場合に有効になります)
  - Passwordの変更** ……パスワードの変更ができます。
  - キャンセル** ……コンコンコール画面に戻ります。

**参考:** 変更したパスワードはシステム設定に保存されます。システム設定の詳細は「カスタマイズ説明書」を参照してください。

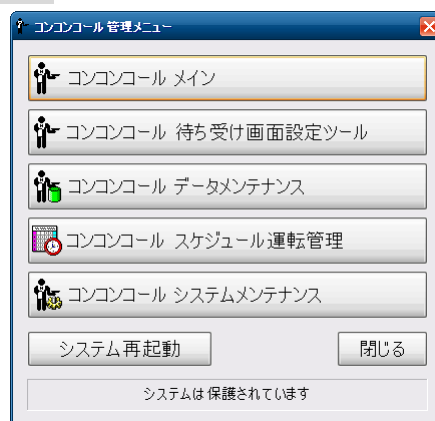
## 5) 管理メニュー

メインプログラムの起動や、登録データの編集・システムの設定を行うプログラムを起動します。

### ◆ 起動方法

Windows 画面にて以下のいずれかで起動してください。

- デスクトップ上の「コンコンコール6.1 管理メニュー」ショートカットアイコン(👤)を実行します。
- Windowsの「スタート」メニューから **すべてのプログラム(P) – コンコンコール Ver6.1 – コンコンコール6.1 管理メニュー** を選択します。



コンコンコール メイン	……………	メインプログラムを起動します。
コンコンコール 待ち受け画面設定ツール	……………	待ち受け画面設定ツールを起動します。
コンコンコール データメンテナンス	……………	データメンテナンスを起動します。
コンコンコール スケジュール運転管理	……………	スケジュール運転管理を起動します。
コンコンコール システムメンテナンス	……………	システムメンテナンスを起動します。
システム再起動	……………	システムを再起動します。
閉じる	……………	管理メニュー画面を閉じます。

最下段のメッセージ「システムは保護されています」はドライブプロテクトの状態を表します。  
ドライブプロテクトの詳細については次ページを参照してください。

## 3 初期設定

### 1) ドライブプロテクトについて

本端末はシステムドライブにプロテクトをかけ書き込み禁止とし、システムの保護を行っています。Windows のシステム関連の設定を変更し保存する場合、プロテクトをOFFにする必要があります。

プロテクトがONの状態を変更した内容は、再起動後に反映されず元の状態に戻りますので注意してください。

コンコンコールで使用する記憶領域(C:\Program Files\ComConCall\Datas)はプロテクトをかけていませんので、自由に読み書きができます。

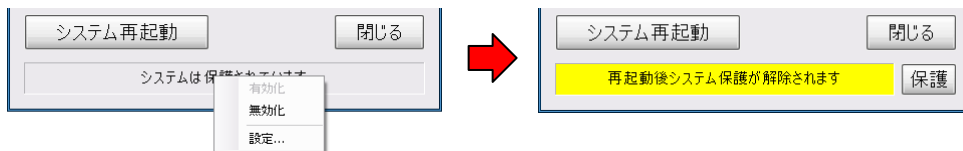
#### ◆ プロテクトのOFF操作

- ① タスクトレイ上のマウスアイコンをクリックし、アイコンを右クリックの状態にします。

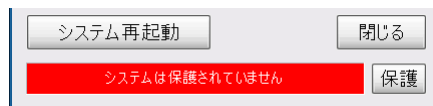


- ② 管理メニューの「システムは保護されています」の部分をクリックすると、右クリックメニューが表示されます。

- ③ **無効化** をクリックすると「再起動後システム保護が解除されます」の表示に変わります。

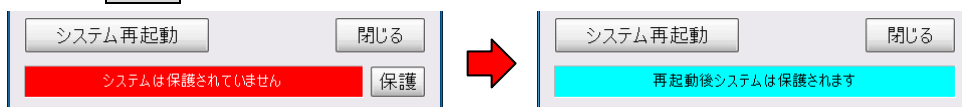


- ④ **システム再起動** をクリックし再起動します。再起動後「システムは保護されていません」の表示に変わります。

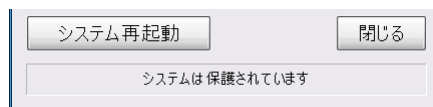


#### ◆ プロテクトのON操作

- ① 管理メニューの **保護** をクリックすると「再起動後システムは保護されます」の表示に変わります。



- ② **システム再起動** をクリックし再起動します。再起動後「システムは保護されています」の表示に変わります。



**お願い：** Windows のシステム関連の設定を変更する時以外は、システムファイルの破損を防ぐため、プロテクトONの状態で使用してください。



## 2) ネットワーク設定

ネットワークに接続しない場合は設定する必要はありません。

本製品はOSに Windows Embedded POSReady 2009 を採用していますので、基本的に Windows XP と同様の手順で設定を行ってください。

### ◆ 固定IPアドレスを設定する場合

- ① プロテクトをOFFに設定します。
- ② Windows の「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク接続」を開きます。
- ③ 「ローカルエリア接続」アイコンを選択し、メニューバーから **ファイル(F) – プロパティ(R)** を選択します。
- ④ 「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウの項目欄で「Internet Protocol(TCP/IP)」を選択し、**プロパティ(R)** をクリックします。
- ⑤ IP アドレス・サブネットマスク等を入力して **OK** をクリックし、「コントロールパネル」を閉じます。
- ⑥ プロテクトをONに設定します。

**お願い：** お手持ちのパソコンとコンコンコールをネットワーク接続する際は、LAN ケーブルでの直結は避け、途中に LAN のハブを介すなどしてください。LAN ケーブルで直結するとネットワーク接続が不安定になったり、ポップアップ画像(オプション)が映らないことがあります。

## 3) 音量の調整

- ① プロテクトをOFFに設定します。
- ② Windows 画面でタスクトレイ上のスピーカーアイコンをクリックして音量を調整します。



- ③ プロテクトをONに設定します。

## 4) 電話回線のダイヤル方式がパルスの場合

本製品は出荷時ダイヤル方式がトーンに設定してあります。ダイヤル方式がパルスの場合、以下の設定を行ってください。

- ① デスクトップ上の「コンコンコール 6.1 管理メニュー」ショートカットアイコン(🔧)を実行し、**コンコンコール システムメンテナンス** を選択します。
- ② 登録情報フォルダの「Settings」フォルダを選択します。
- ③ 登録内容一覧の名前欄が「LineAssortment」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。
- ④ 値を「DP10」または「DP20」に変更して **OK** をクリックし、システムメンテナンスを終了します。

## 5) 人感センサー反応速度の調節

来客に対して人感センサーがなかなか反応しない場合や、人が通り過ぎるだけで反応してしまうような場合、適当な値に調節して下さい。工場出荷時の値は 20 です。


- ① デスクトップ上の「コンコンコール 6.1 管理メニュー」ショートカットアイコン(🔧)を実行し、**コンコンコール システムメンテナンス** を選択します。
- ② 登録情報フォルダの「Settings」フォルダを選択します。
- ③ 登録内容一覧の名前欄が「SensorSensitivity」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。
- ④ 人感センサーが反応するまでの時間をミリ秒単位で設定して **OK** をクリックし、システムメンテナンスを終了します。0 に設定した場合は信号を無視し、人感センサーが無効の状態となります。

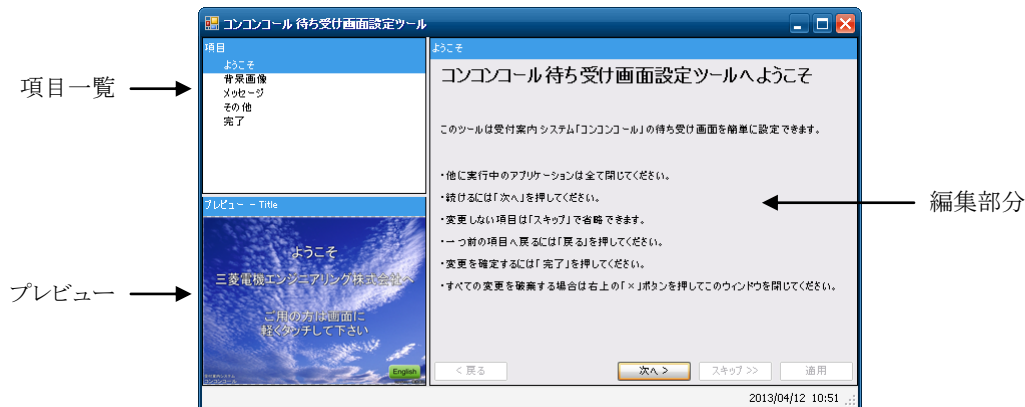
## 6) 待ち受け画面設定ツール

タイトル画面に表示される、「ようこそ」に続く組織名(会社名)の変更や背景などをウィザード形式で設定できます。

### ◆ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- デスクトップ上の「コンコンコール 6.1 管理メニュー」ショートカットアイコン(  )を実行し、**コンコンコール 待ち受け画面設定ツール** を選択します。
- Windowsの「スタート」メニューから **すべてのプログラム(P) - コンコンコール Ver6.1 - コンコンコール6.1 待ち受け画面設定ツール** を選択します。



### ◆ 項目

- 背景画像** ..... 背景画像を設定します。
- メッセージ** ..... 表示されている文章や組織名(会社名)を変更します。
- その他** ..... 無人時の画面の戻り時間や省電力モードを設定します。
- 完了** ..... 変更内容の確定/やり直しを行います。

**お願い:** 背景画像を登録することによりデータベースファイルのサイズが大きくなります。データベースファイルの最大サイズは、CF カードにデータベースファイルのサイズの2倍以上の空き容量を確保できるサイズまでとしてください。空き容量が少ないと動作不良の原因となります。  
例) データベースファイルサイズが 200MB の場合、200MB×2 倍=400MB の空き容量が必要です。

## 4 自動起動・自動終了時刻の設定

### 1) スケジュール運転管理画面



#### ◆ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- デスクトップ上の「コンコンコール6.1 管理メニュー」ショートカットアイコン(👤)を実行し、**コンコンコール スケジュール運転管理** を選択します。
- Windowsの「スタート」メニューから **すべてのプログラム(P) - コンコンコール Ver6.1 - コンコンコール6.1 スケジュール運転管理** を選択します。

#### ◆ メニューバー

##### ファイル(F)

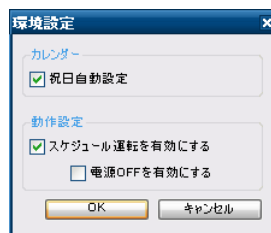
環境設定(S)... ……環境設定画面を開きます。

外部データベース書き出し(W)... ……設定されている内容をデータベースファイルに出力します。

外部データベース読み込み(R)... ……データベースファイルの内容を取り込みます。

終了(X) ……スケジュール運転管理を終了します。終了した場合、スケジュール運転は行われなくなります。

#### ◆ 環境設定



項目	説明
カレンダー	
祝日自動設定	祝日を自動で休日に設定します。(平成25年5月30日改正の祝日法による祝日を適用しています)
動作設定	
スケジュール運転を有効にする	スケジュール運転の有効・無効を設定します。
電源OFFを有効にする	スケジュールの停止時刻にシステムのシャットダウンを行います。次回起動する場合は電源の再供給が必要です。

## 4.自動起動・自動終了時刻の設定

### ◆ カレンダー

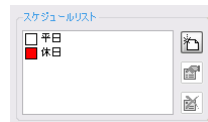
日付の下の色は、スケジュールリストでどのスケジュールを選択しているかを表します。

曜日または日付をクリックすることで、スケジュールリストのスケジュールを選択できます。



### ◆ スケジュールリスト

スケジュールの一覧です。スケジュールの編集・作成を行います。



.....スケジュールを新規作成します。





.....選択されているスケジュールを編集します。

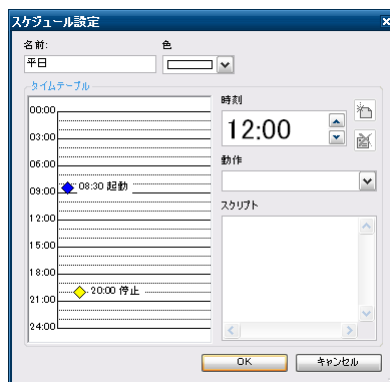


.....選択されているスケジュールを削除します。

## 2) スケジュールの編集

スケジュールリスト右の新規作成ボタン (  ) または、編集するスケジュールを選んで編集ボタン (  ) をクリックすると、スケジュール設定画面が表示されます。(編集するスケジュールをダブルクリックしてもスケジュール設定画面が表示されます)


タイムテーブルの内容により、起動・再起動・停止が行われます。



項目	説明
名前	スケジュールリストに表示される名称です。
色	カレンダー及びスケジュールリストに表示される色です。
タイムテーブル	設定されているスケジュールを表示します。
時刻	時刻を設定する場合に使用します。

項目	説明
動作	
起動	停止状態から復帰します。
再起動	システムの再起動を行います。
停止	システムを停止します。
スクリプト実行	スクリプトを実行します。
電源OFF(環境設定で「電源OFFを有効にする」に設定している場合)	システムの電源をOFFにします。次回起動する場合は電源の再供給が必要です。
スクリプト	動作で指定された処理を実行する前または後にスクリプトを実行します。 スクリプトを実行するタイミングは以下のとおり 起動……………起動後 再起動……………再起動前 停止……………停止前 スクリプト実行 ……指定時刻 電源 OFF ……電源 OFF 前


◆ タイムテーブルへの登録

- ① 時刻欄の時刻を設定します。(タイムテーブル内をクリックすることで、クリックされた位置の時刻が入力されます)
- ② 動作欄で動作(起動/再起動/停止)を指定します。(環境設定で「電源OFFを有効にする」に設定している場合は「電源 OFF」が追加されます)
- ③ 時刻欄右の作成ボタン (  )をクリックすると、タイムテーブル欄に登録されます。

◆ タイムテーブルのデータを編集する

- ① タイムテーブル欄の編集するデータを選択します。
- ② 時刻欄または動作欄を編集します。

◆ タイムテーブルのデータを削除する

- ① タイムテーブル欄の削除するデータを選択します。
- ② 時刻欄右の削除ボタン (  )をクリックします。

### 3) 注意点

#### ◆ 24時間運転する場合

システムのメモリークによるエラーを防ぐため、24 時までの間に 1 回の再起動を入れてください。

#### ◆ システム停止時の停電または瞬時停電

スケジュール運転管理では、モニターをOFFにすることでシステムの停止を行っています。

システム停止中に停電または瞬時停電等で電源供給が遮断され、その後再度電源が供給された場合には設定時刻に関係なく一時的にシステムが起動しますが、自動的にシステム停止状態となります。

#### ◆ システム停止時の起動

システム停止時に画面にタッチすると一時的にモニターがONとなります。(一定時間無操作が続くとOFFになります)

画面の3点タッチによりデータの取り込みや、Windows 画面に戻ってデータを編集することができます。

再度システム停止状態にするにはコンコンロールを起動し、画面の3点タッチより「停止」を選択してください。

#### ◆ 時計補正のお願い

スケジュール運転管理では、Windows の時計を元にスケジュール運転を行います。Windows の時計はご使用の環境や状態などにより時刻が狂う場合がございますので、定期的に時刻補正を行ってください。

## 5 部門・担当者データの登録・修正方法

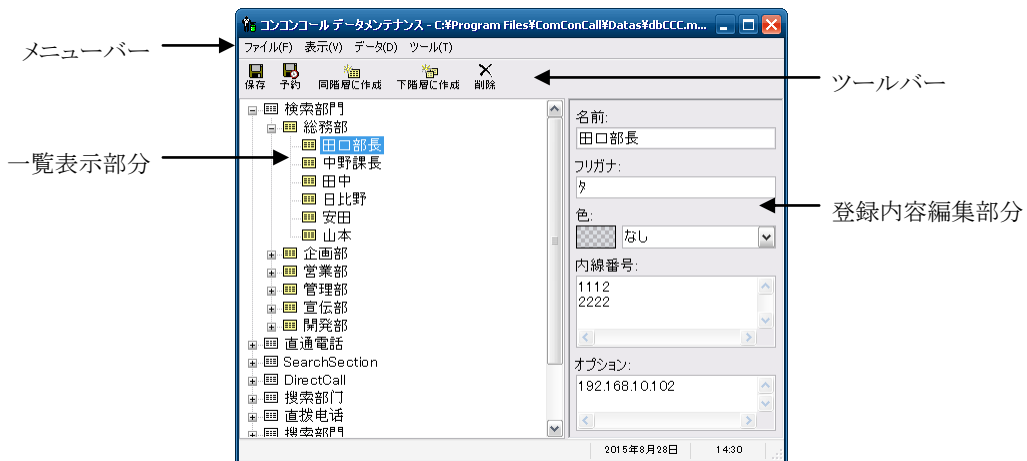
人事異動、部門の統廃合、改名などの時に使用します。

データの変更前、変更後には必ずバックアップを行ってください。変更に伴うデータの破損等については当社では保証を致しかねます。

**参考:** バックアップについては「6 データのバックアップ/復旧」を参照してください。

### 1) データメンテナンス画面

部門、担当者等の内線データの登録・更新を行うには、データメンテナンスを使用します。



#### ◆ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- デスクトップ上の「コンコンコール 6.1 管理メニュー」ショートカットアイコン(📌)を実行し、**コンコンコール データメンテナンス** を選択します。
- Windowsの「スタート」メニューから **すべてのプログラム(P) - コンコンコール Ver6.1 - コンコンコール6.1 データメンテナンス** を選択します。

#### ◆ メニューバー

##### ファイル(F)

- データ保存(S)** .....変更された内容をデータベースに保存します。
- 更新予約保存(T)...** .....更新日時を指定して編集中の内容を保存します。
- 更新予約管理(M)...** .....登録されている更新予約の情報を編集します。
- 変更の取り消し(C)** .....変更を取り消し、データベースを再読み込みします。
- 外部データベース書き出し(W)...** .....表示されている内容をデータベースファイルに出力します。
- 外部データベース取り込み(R)...** .....データベースファイルの内容を取り込みます。
- データメンテナンスの終了(X)** .....データメンテナンス画面を終了します。

##### 表示(V)

- 以下を展開(E)** .....ツリーの選択されているデータから下位のノードを展開します。
- 以下を折りたたむ(C)** .....ツリーの選択されているデータのノードを圧縮します。
- 最新の情報に更新(R)** .....データベースに保存されている最新の情報を表示します。
- バージョン情報 (V)** .....バージョン情報を表示します。

## 5.部門・担当者データの登録・修正方法

### データ(D)

同階層に新規作成(N) ……選択されているデータと同じ階層にデータを新規作成します。

下階層に新規作成(C) ……選択されているデータの下階層にデータを新規作成します。

削除(D) ……選択されているデータを削除します。

### ツール(T)

テキストファイル出力(O)……表示されている内容をテキストファイルに出力します。

テキストファイル入力(I)……テキストファイルの内容を取り込みます。

### ◆ ツールバー



保存 ……変更された内容をデータベースに保存します。



予約 ……更新日時を指定して編集内容の内容を保存します。



同階層に作成 ……選択されているデータと同じ階層にデータを新規作成します。



下階層に作成 ……選択されているデータの下階層にデータを新規作成します。



削除 ……選択されているデータを削除します。

### ◆ 登録内容編集部分

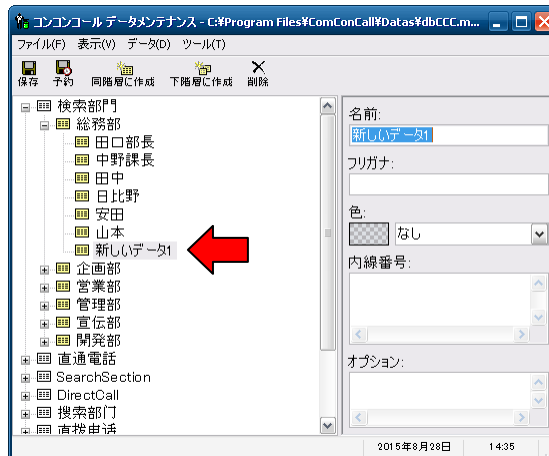
一覧表示部分で選択したデータの登録内容を表示します。

- 名前 ……ボタンに表示される名称です。
- フリガナ ……名前で検索する場合に入力します。
- 色 ……表示されるボタンの色です。  
なしを選択した場合、内線番号欄の登録なし→青色、内線番号欄の登録あり→緑色で表示されます。
- 内線番号 ……内線番号を登録します。改行コード(**[Enter]**キーを押して入力)で区切ることで、複数(改行コードを含め最大 255 文字まで)入力することができます。通話中の場合など来訪者がリダイヤルボタンをタッチすることで次行の内線をダイヤルします。(自動転送機能オプションを設定している場合は設定時間後に次行の内線にダイヤルします)
- オプション ……通常は使用しません。カスタマイズ等で内線データに説明文や識別コードを割り当てる場合に入力します。  
メッセージポップアップオプションを設定している場合は、ポップアップさせる端末のIPアドレスを入力します。



## 2) 内線データの新規登録

- ① 一覧表示部より新しく内線データを追加する階層の基準となるデータのアイコン(☐)を選択します。
- ② 選択したデータと同階層にデータを作成する場合は、メニューバーから **データ(D)ー同階層に新規作成(N)** を選択します。(またはツールバーの **同階層に作成** をクリックします。)  
 選択したデータの下階層にデータを作成する場合は、メニューバーから **データ(D)ー下階層に新規作成(C)** を選択します。(またはツールバーの **下階層に作成** をクリックします。)
- ③ 「新しいデータ 1」という名前の内線データが作成されます。
- ④ 登録内容編集部分にて名前、フリガナ、表示されるボタンの色、内線番号等を入力してください。

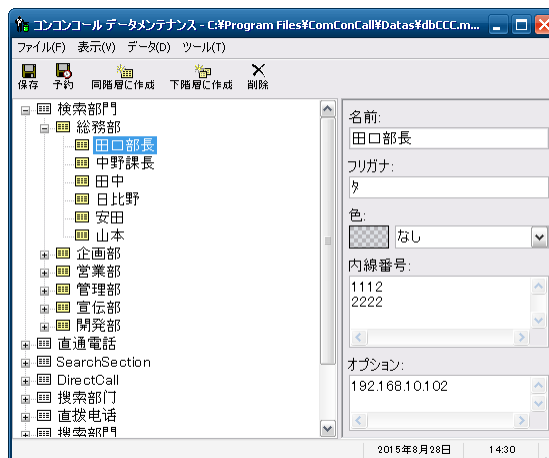


**お願い:** 初期状態では一覧表示部分の最上位階層に検索カテゴリ(検索部門・直通電話)が登録されています。内線データを追加する場合は目的の検索カテゴリの下層に追加してください。  
 例) 検索部門-総務部-総務課-総務係 (7階層まで)

**参考:** 検索部門は「部門で検索」「名前前で検索」で検索されるデータのカテゴリ、直通電話はメニュー画面に表示されるデータ(「受付を呼び出す」「総合案内」等)のカテゴリです。

## 3) 内線データの登録内容変更

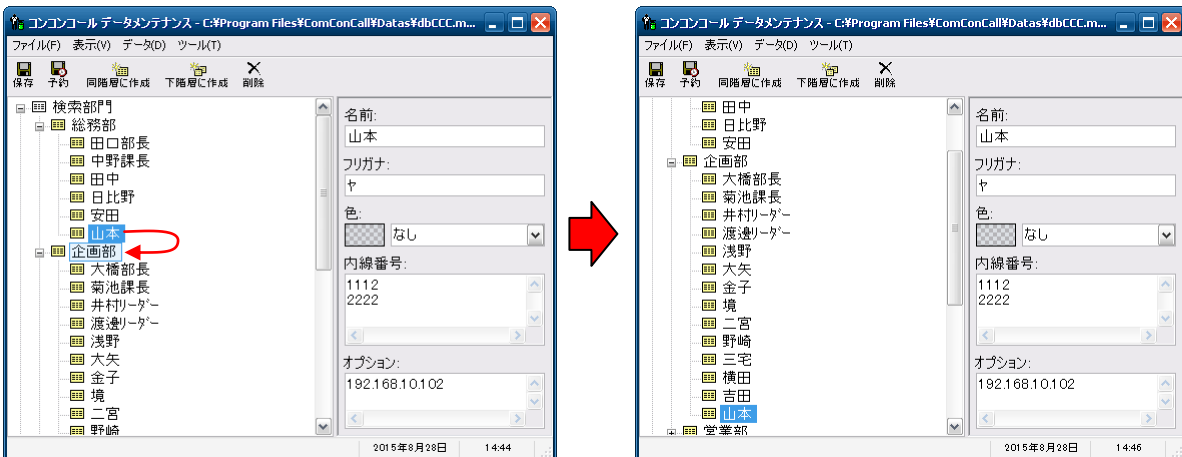
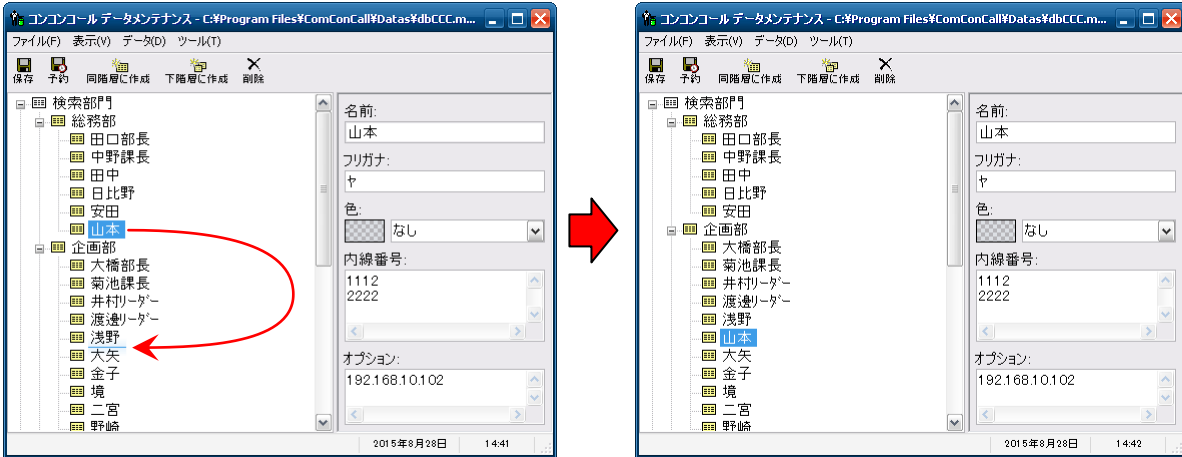
- ① 一覧表示部分より目的の内線データアイコン(☐)を選択します。



- ② 登録内容編集部の入力部分をクリックし変更します。

#### 4) 内線データの表示順・階層変更

- ① 一覧表示部の表示順を変更したい内線データアイコン(■)にマウスカーソル(既定値では☞)を合わせます。
- ② マウスの左ボタンを押したままマウスカーソルを目的の位置まで移動(ドラッグ)します。
- ③ 移動先の位置に強調色のガイドが現れます。このガイドを目印に選択した内線データを移動してください。



**参考:** 移動先の位置のガイドは形状がライン(表示例上段)であればデータとデータの間、ボックス(表示例下段)であればそのボックスで囲まれたデータの下階層にデータが移動することを表します。

## 5) 内線データの削除

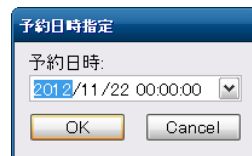
- ① 一覧表示部分より目的の内線データアイコン(☒)を選択します。
- ② メニューバーから **データ(D) - 削除(D)** を選択します。(またはツールバーの **削除** をクリックします。)
- ③ 削除確認のダイアログボックスが表示されますので削除される部門を確認の上、よろしければ **はい(Y)** をクリックしてください。
- ④ 削除する内線データの下階層にデータがある場合、再度確認ダイアログボックスが表示されますので、よろしければ **はい(Y)** をクリックしてください。

## 6) 内線データの保存

- ① メニューバーから **ファイル(F) - データ保存(S)** を選択します。(またはツールバーの **保存** をクリックします。)
- ② 保存せずにデータメンテナンス画面を終了しようとした場合、確認のダイアログボックスが表示されますので、保存する場合は **はい(Y)** をクリックしてください。

## 7) 更新日時を予約して保存

- ① メニューバーから **ファイル(F) - 更新予約保存(T)...** を選択します。(またはツールバーの **予約** をクリックします。)



- ② データを更新する日時を指定して **OK** をクリックしてください。

## 8) 更新予約日時の管理

- ① メニューバーから **ファイル(F) - 更新予約管理(M)...** を選択します。

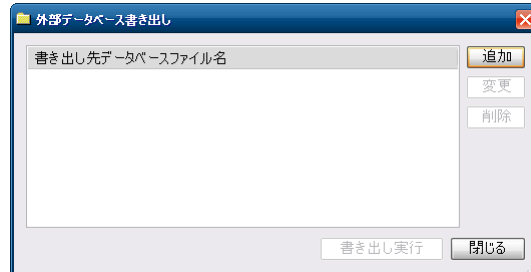


- ② すでに予約されている更新予定日時を変更する場合はリストから選択し、**日時変更** をクリックします。
- ③ すでに予約されている更新予定を取り消す場合はリストから選択し、**予約削除** をクリックします。
- ④ すでに予約されている更新予定の内線データを編集する場合はリストから選択し、**データ編集** をクリックします。(またはリストの予定日時をダブルクリックします。)編集した内線データを保存するにはメニューバーから **ファイル(F) - データ保存(S)** を選択します。(またはツールバーの **保存** をクリックします。)

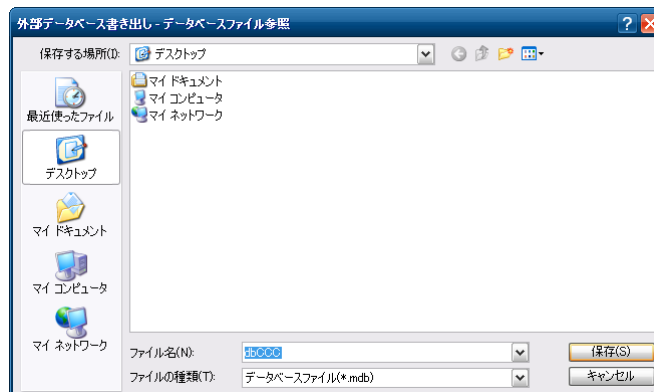
## 9) 外部データベース書き出し

外部データベース書き出しでは、コンコンコールデータベースの内線番号データを、別のコンコンコールデータベースファイルへ出力します。ネットワーク経由でのメンテナンス時やデータのバックアップ時に利用します。

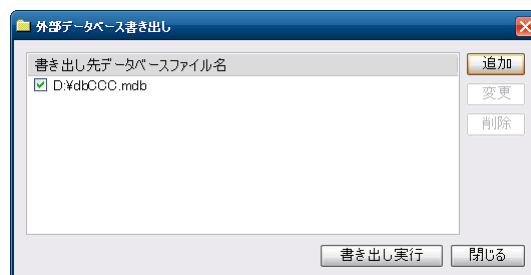
- ① メニューバーから **ファイル(F)ー外部データベース書き出し(W)...** を選択します。



- ② 初めて書き出しを行う場合または書き出し先を追加する場合は **追加** をクリックし、データベースファイル参照ダイアログボックスにて保存先ディレクトリ、ファイル名を指定し **保存(S)** をクリックします。



- ③ **書き出し実行** をクリックします。



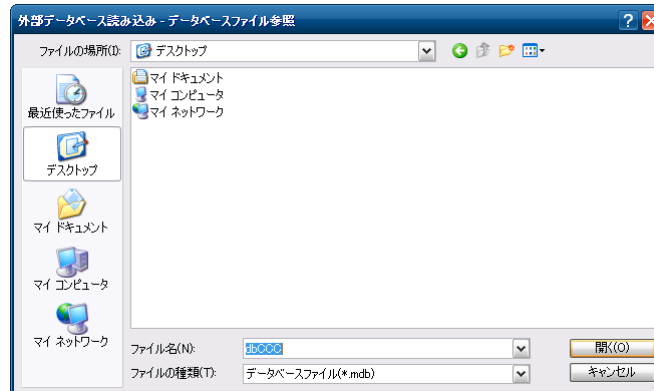
- ④ 書き出し先を変更・削除する場合はリストから選択し、**変更** または **削除** をクリックします。また、リスト左のチェックボックスにより書き出しの可否を選択することができます。

**参考:** 複数台のコンコンコールを設置しネットワーク経由でメンテナンスを実施している場合、書き出し先に各端末のデータベースを設定することで、同一内線番号データに一括更新することができます。

## 10) 外部データベース取り込み

外部データベース取り込みでは、別のコンコンコールデータベースファイルから内線番号データを取り込みます。メンテナンス用 PC を更新した場合にコンコンコール本体からデータを取り出す場合や、バックアップを復元する場合に利用します。

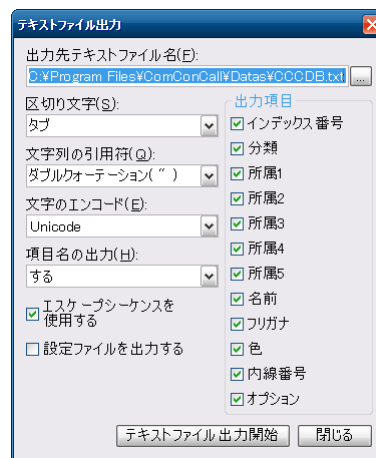
- ① メニューバーから **ファイル(F)ー外部データベース取り込み(R)** を選択します。
- ② データベースファイル参照ダイアログボックスからデータベースファイルを指定し **開く(O)** をクリックします。



## 11) テキストファイル出力

テキストファイル出力では、コンコンコールデータベースの内線番号データをテキストファイル形式で出力します。

- ① メニューバーから **ツール(T)ーテキストファイル出力(O)** を選択します。



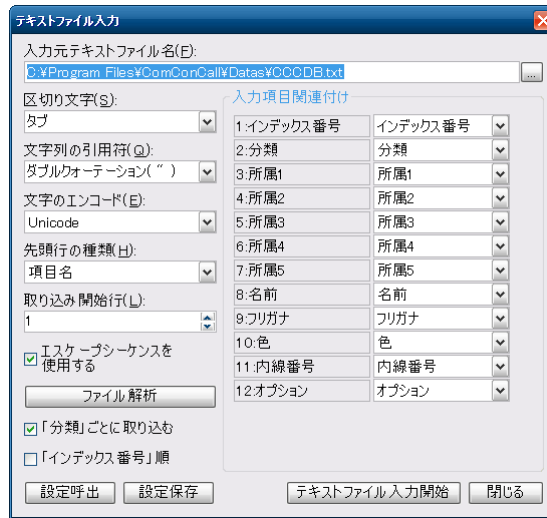
- ② テキストファイル出力ダイアログの各項目を設定し **テキストファイル出力開始** をクリックします。各項目の説明を以下に示します。

- 出力先テキストファイル名 …………… 出力先、ファイル名を指定します。
- 区切り文字 …………… 項目フィールド区切り記号の文字を指定します。
- 文字列の引用符 …………… 文字列の引用符を指定します。
- 文字のエンコード …………… 文字のエンコード形式を指定します。
- 項目名の出力 …………… 項目名を先頭行に出力する/しないを指定します。
- 出力項目 …………… 出力する項目を選択します。
- エスケープシーケンスを使用する …… 制御文字(改行やタブ等)をエスケープ制御文字「¥」と組み合わせた文字で置き換えます。
- 設定ファイルを出力する …………… 現在の各項目の設定状態をファイルに保存します。

## 12) テキストファイル入力

テキストファイル入力では、区切り記号つきテキストファイルをコンコンコールデータベースに取り込みます。

- ① メニューバーから **ツール(T)** - **テキストファイル入力(I)** を選択します。



- ② テキストファイル入力ダイアログの各項目を設定し **ファイル解析** をクリックします。各項目の説明を以下に示します。

- 入力元テキストファイル名 …… 入力する区切り記号つきテキストファイルを指定します。
- 区切り文字 …… 項目フィールド区切り記号の文字を指定します。
- 文字列の引用符 …… 文字列の引用符を指定します。
- 文字のエンコード …… 文字のエンコード形式を指定します。
- 先頭行の種類 …… 先頭行を項目として取り込むかデータとして取り込むかを指定します。
- 取り込み開始行 …… 取り込みを開始する行を指定します。
- エスケープシーケンスを使用する …… エスケープ制御文字「\」と組み合わせた文字を制御文字(改行やタブ等)に置き換えます。
- **ファイル解析** …… 上記で指定された条件に従い入力元テキストファイルを解析し、結果を「入力項目関連付け」へ表示します。
- 「分類」ごとに取り込む …… 最上位階層(入力項目関連付けで「分類」に割り当てられる項目)に指定された項目の内容と同じデータのみを更新します。
- 「インデックス番号」順 …… 入力項目関連付けで「インデックス番号」に割り当てられる項目で予め並び替えて取り込みます。
- 入力項目関連付け …… 入力元ファイルの項目をコンコンコールデータベースのどの項目に取り込むかの関連付けを指定します。
- **設定呼出** …… **設定保存** でファイルに保存された設定状態を呼び出します。
- **設定保存** …… 現在の各項目の設定状態をファイルに保存します。

- ③ 入力項目の関連付けが終了したら **テキストファイル入力開始** をクリックします。

### 13) Excel ファイルから部門・担当者データを取り込む

Microsoft Excel ファイルでデータを作成してある場合、区切り記号つきテキストファイルに変換して取り込むことができます。

例として下記データを Unicode テキストファイルとして取り込む方法を説明します。

	A	B	C	D	E	F
1	内線一覧					
2		部	課	名前	ふりがな	内線
3	1	総務部		田口部長	タケチ	111
4	2	総務部	総務課	中野課長	ナカノ	112
5	3	総務部	総務課	田中	タナカ	113
6	4	総務部	総務課	日比野	ヒビノ	113
7	5	総務部	総務課	安田	ヤスダ	114
8	6	総務部	総務課	山本	ヤマモト	114
9	7	総務部	人事課	菊池課長	キクチ	221
10	8	総務部	人事課	浅野	アサノ	222
11	9	総務部	人事課	大矢	オオヤ	222
12	10	総務部	人事課	金子	カナコ	223
13	11	総務部	人事課	境	サカイ	223

#### ◆ Unicode テキストファイルへの変換

- ① Excel ファイルを開き、メニューの **ファイル(F) - 名前を付けて保存(A)** を選択します。
- ② 「ファイルの種類」欄で「Unicode テキスト (\*.txt)」を選択して保存します。

**参考:** CSV ファイルに変換する場合は「ファイルの種類」欄で「CSV(カンマ区切り)(\*.csv)」を選択して保存します。

#### ◆ ファイルの取り込み

- ① コンコンコールデータメンテナンスを起動します。
- ② メニューバーから **ツール(T) - テキストファイル入力(I)** を選択します。
- ③ 「入力元テキストファイル名」欄に保存したテキストファイルを選択します。
- ④ 「区切り文字」欄に「タブ」を選択します。
- ⑤ 「文字のエンコード」欄に「Unicode」を選択します。

**参考:** CSV ファイルに変換した場合は「区切り文字」欄に「カンマ(,)」、「文字のエンコード」欄に「Shift-JIS」を選択します。

- ⑥ 1行目(内線一覧)は取り込まないので「取り込み開始行」欄を「2」に設定します。
- ⑦ 「分類」ごとに取り込む のチェックを入れます。
- ⑧ **ファイル解析** をクリックします。
- ⑨ 「入力項目関連付け」欄で、Excel の項目(左側)をコンコンコールのどの項目(右側)に関連付けるかを設定します。

**参考:** Excel の項目名(左側)とコンコンコールの項目名(右側)を同一にすることで、関連付けの作業を省略することができます。

5.部門・担当者データの登録・修正方法

◆ 入力項目について

項目	説明
インデックス番号	インデックス番号に関連付けることでインデックス順にデータが登録されます。
分類	<p>検索カテゴリを関連付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検索部門 ……「部門で検索」「名前で検索」で検索されるデータ</li> <li>直通電話 ……メニュー画面に表示されるデータ</li> <li>SearchSection ……英語での検索部門</li> <li>DirectCall ……英語での直通電話</li> <li>搜索部門 ……簡体中国語での検索部門</li> <li>直拨电话 ……簡体中国語での直通電話</li> <li>搜索部門 ……繁体中国語での検索部門</li> <li>直撥電話 ……繁体中国語での直通電話</li> <li>검색부문 ……韓国語での検索部門</li> <li>직통전화 ……韓国語での直通電話</li> </ul>

検索部門のみの場合は関連付ける必要はありません。

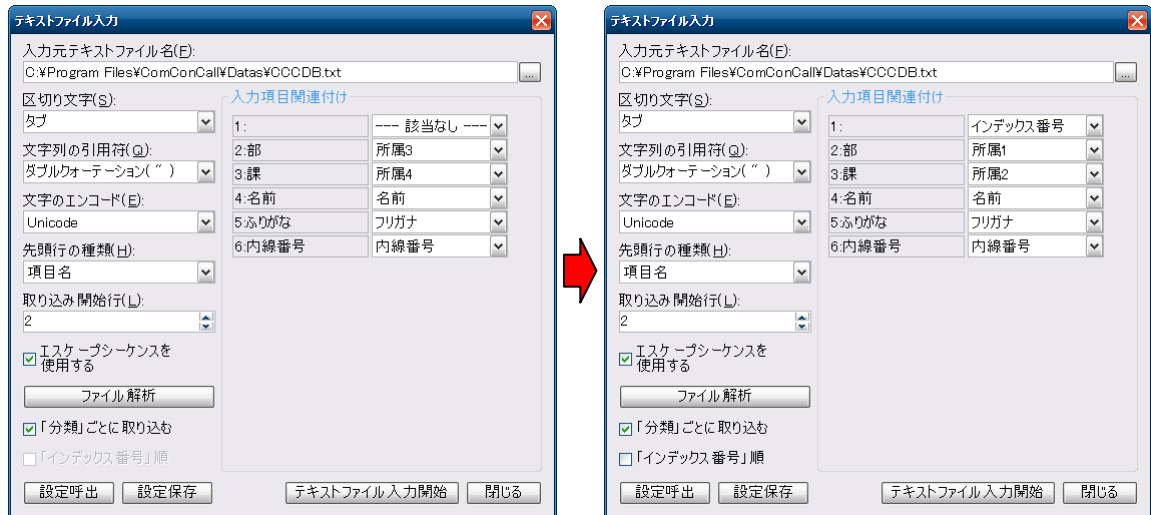
	1	2	3	4	5	6	7
1	内線一覧						
2		分類	部	課	名前	ふりがな	内線
3	1	検索部門	総務部		田口部長	タケグチ	111
4	2	検索部門	総務部	総務課	中野課長	ナカノ	112
5	3	検索部門	総務部	総務課	田中	タナカ	113
6	4	検索部門	総務部	総務課	日比野	ヒビノ	113
7	5	検索部門	総務部	総務課	安田	ヤスダ	114
8	6	検索部門	総務部	総務課	山本	ヤマモト	114
9	7	検索部門	総務部	人事課	菊池課長	キクチ	221
10	8	検索部門	総務部	人事課	浅野	アサノ	222
11	9	検索部門	総務部	人事課	大矢	オオヤ	222
12	10	検索部門	総務部	人事課	金子	カネコ	223
13	11	検索部門	総務部	人事課	境	サカイ	223
14	12	直通電話	総合案内				114
15	13	SearchSection	General affairs department		Tanaka	Tanaka	113
16	14	SearchSection	General affairs department		Yamamoto	Yamamoto	114
17	15	SearchSection	General affairs department		Kaneko	Kaneko	223
18	16	DirectCall	Reception				114

- 所属 1~5 部門データを所属 1 から順に関連付けます。
- 名前 名前データに関連付けます。「名前で検索」ボタンを表示しない設定の場合は関連付ける必要はありません。
- フリガナ フリガナデータに関連付けます。「名前で検索」ボタンを表示しない設定の場合は関連付ける必要はありません。
- 色 ボタンに色を割り当てる場合(男性→青、女性→赤など)は、Excel の列を追加して関連付けてください。関連付けない場合や、データが空欄の場合、ボタンはグリーン(初期値)で表示されます。

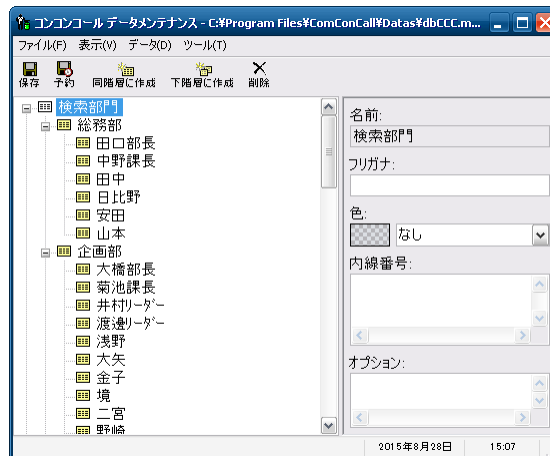
	A	B	C	D	E	F	G
1	内線一覧						
2		部	課	名前	ふりがな	ボタン色	内線
3	1	総務部		田口部長	タケグチ	青	111
4	2	総務部	総務課	中野課長	ナカノ	青	112
5	3	総務部	総務課	田中	タナカ	青	113
6	4	総務部	総務課	日比野	ヒビノ	青	113
7	5	総務部	総務課	安田	ヤスダ	赤	114
8	6	総務部	総務課	山本	ヤマモト	赤	114
9	7	総務部	人事課	菊池課長	キクチ	青	221

- 内線番号 内線番号を関連付けます。「¥n」で区切ることで複数指定することができます。  
例) 内線番号を 111¥n222 とすると複数の内線番号を入力することができます。
- オプション 通常は使用しません。メッセージポップアップオプションを設定している場合は、ポップアップさせる端末のIPアドレスを関連付けます。





- ⑩ 「入力項目の関連付け」が終了したら **テキストファイル入力開始** をクリックします。
- ⑪ 以下の様にツリー状にデータが登録されます。



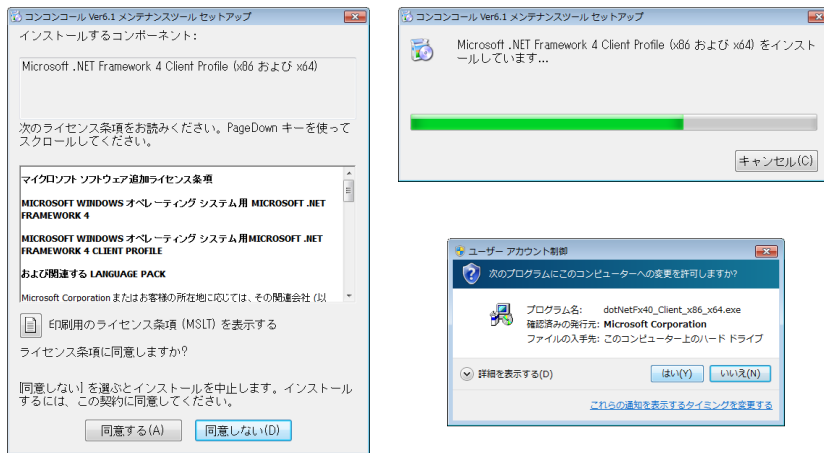
- ⑫ 「直通電話」の下の階層の「総合案内」を選択して、内線番号を登録します。(メニュー画面に「総合案内」ボタンを表示しない場合は、「直通電話」の下階層の「総合案内」を削除します。)
- ⑬ データを保存してコンコンコールを起動します。

## 14) お手持ちのパソコンでデータをメンテナンスする

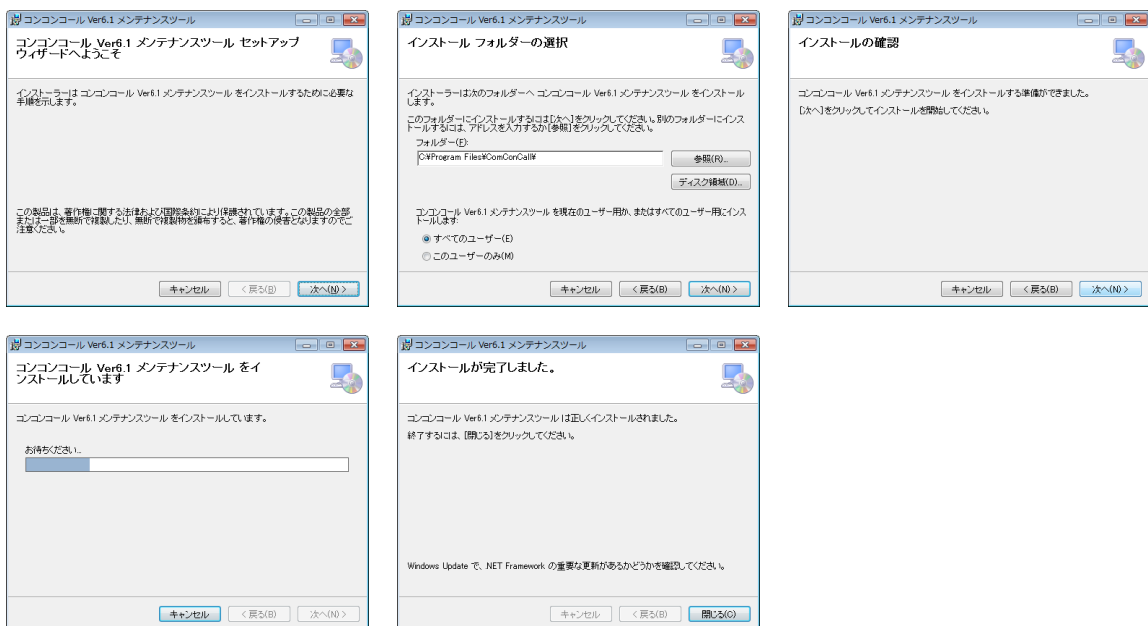
お手持ちのパソコンにメンテナンスツールをインストールして、データのメンテナンスを行うことができます。

### ◆ メンテナンスツールのインストール

- ① データのメンテナンス用に用意したパソコンに、コンコンコール セットアップ CD-ROM を挿入します。
- ② CD-ROM の自動再生機能によりセットアップが起動します。セットアップが自動的に起動しない場合は、Windows の「スタート」メニューから **プログラムとファイルの検索** に「D:¥Setup¥Setup.exe」と入力して **Setup.exe** を実行してください。(CD-ROMドライブがDの場合)
- ③ 本プログラムは Microsoft .NET Framework 4 を必要とします。使用する端末にインストールされていない場合は Microsoft .NET Framework 4 のインストール画面が表示されます。ライセンス条項を確認の上、**同意する(A)** をクリックしてインストールしてください。  
インストール途中にユーザーアカウント制御で「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示された場合は **はい(Y)** をクリックしてください。



- ④ 「セットアップウィザードへようこそ」のウィンドウが表示されたら **次へ(N)** をクリックします。  
インストール先のフォルダを指定し、インストールするユーザーのタイプを指定します。  
インストール途中にユーザーアカウント制御で「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示された場合は **はい(Y)** をクリックしてください。  
セットアップが終了し、「セットアップの完了」のウィンドウが表示されたら **閉じる(C)** をクリックします。



## ◆ USBメモリ等を使用する場合

- ① メンテナンスツールをインストールした端末のコンコンコールデータメンテナンスを起動します。
- ② 内線データを編集します。
- ③ メニューバーから **ファイル(F)ーデータ保存(S)** を選択しデータを保存します。(またはツールバーの **保存** をクリックします。)
- ④ メニューバーから **ファイル(F)ー外部データベース書き出し(W)** を選択します。
- ⑤ **追加** をクリックして保存先ディレクトリ、ファイル名を指定し **保存(S)** をクリックします。(保存先をUSBメモリ等に設定します。)
- ⑥ **書き出し実行** をクリックします。

**参考:** スケジュール運転管理も同様に **ファイル(F)ー外部データベース書き出し(W)** を選択します。  
システムメンテナンスの場合はメニューバーから **ファイル(F)ー外部データベース書き出し(バックアップ)** を選択します。

- ⑦ USBメモリ等をコンコンコール本体にセットします。
- ⑧ 画面の3点タッチより、**データ取り込み** をクリックします。

**参考:** パスワードや指紋認証付きの USB メモリを使用している場合は、画面の3点タッチより Windows 画面に戻り USB メモリのロックを解除した後、コンコンコールデータメンテナンスを起動し、**ファイル(F)ー外部データベース取り込み(R)** を選択してデータを取り込んでください。

- ⑨ データ取り込みダイアログが開き、データの検索が始まります。手動で取り込むデータを指定する場合は、**検索中止** をクリックして目的のデータを指定してください。



- ⑩ 目的のデータが表示されたら、取り込む項目を選択して、**取り込み** をクリックします。目的のデータベースが「参照先データベースファイル名」の一覧に表示されない場合は **再検索** をクリックするか、「参照先データベースファイル名」の一覧から「その他のデータベースファイルを参照...」を選択して直接データベースファイルを指定してください。

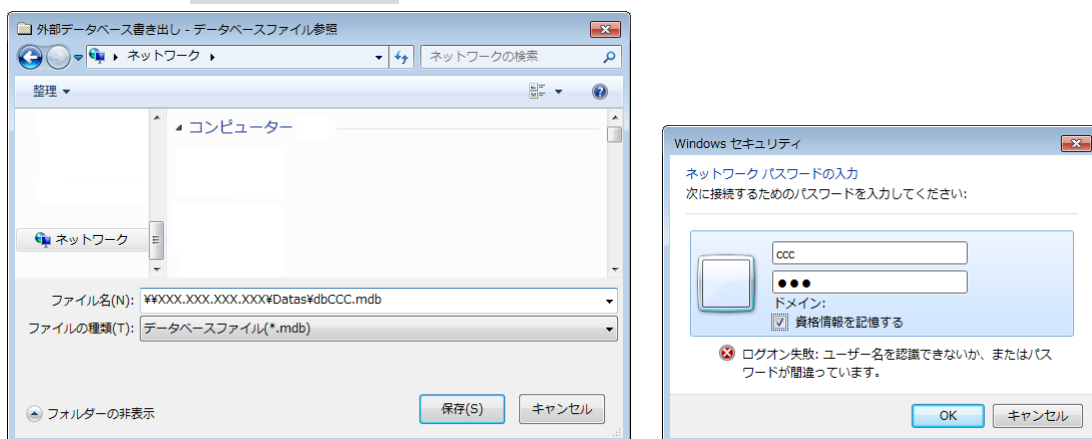


- ⑪ データベースの最適化が行われ、プログラムが再起動します。
- ⑫ データが更新されているか確認してください。

## 5.部門・担当者データの登録・修正方法

### ◆ ネットワークに接続している場合

- ① メンテナンスツールをインストールした端末のコンコンコールデータメンテナンスを起動します。
- ② 内線データを編集します。
- ③ メニューバーから **ファイル(F)ーデータ保存(S)** を選択します。(またはツールバーの **保存** をクリックします。)
- ④ メニューバーから **ファイル(F)ー外部データベース書き出し(W)** を選択します。
- ⑤ **追加** をクリックします。
- ⑥ **ファイル名(N)** に「¥¥XXX.XXX.XXX.XXX¥Datas¥dbCCC.mdb」を入力し **保存(S)** をクリックします。  
(XXX.XXX.XXX.XXX はコンコンコール本体に設定したIPアドレス)  
「Windows セキュリティ」ウィンドウが表示される場合がありますが、この場合 **ユーザー名** に「ccc」、**パスワード** に「ccc」を入力し、**資格情報を記憶する** にチェックを入れてください。



- ⑦ **書き出し実行** をクリックします。

**参考:** 外部データベース書き出しについては「5.9 外部データベース書き出し」を参照してください。

**参考:** スケジュール運転管理も同様に **ファイル(F)ー外部データベース書き出し(W)** を選択します。  
システムメンテナンスの場合はメニューバーから **ファイル(F)ー外部データベース書き出し(バックアップ)** を選択します。

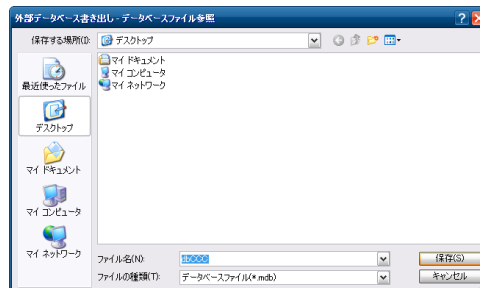
**参考:** コンコンコール本体の共有フォルダを予めネットワークドライブに割り当てておくことも可能です。  
共有フォルダはコンコンコール本体の「C:¥Program Files¥ComConCall¥Datas」です。(共有名: Datas)

## 6 データのバックアップ／復旧

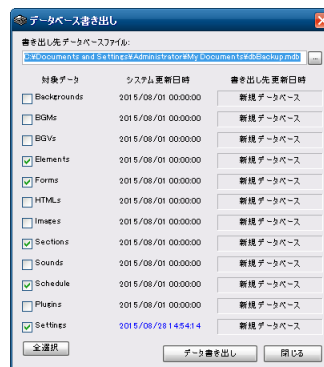
不慮の事故等で大切なデータが失われないよう、コンコンコールのメンテナンス後にデータのバックアップを行うことをお勧めします。

### 1) バックアップ

- ① システムメンテナンスを起動します。
- ② メニューバーから **ファイル(F)－外部データベース書き出し(バックアップ)** を選択します。
- ③ 書き出し先を指定するウィンドウが表示されるので、任意の場所・ファイル名を指定し、**保存** をクリックします。  
(書き出し先を指定するウィンドウが表示されない場合、参照ボタン(**...**)を押すと表示されます)



- ④ 対象データを選択して **データ書き出し** をクリックします。



- ⑤ 書き出し終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。

**参考:** 部門・担当者データは対象データの「Sections」に対応しています。他の対象データについては「カスタマイズ説明書の 2.システムメンテナンス」を参照してください。

### 2) 復旧

- ① メニューバーから **ファイル(F)－外部データベース取り込み(復旧)** を選択します。
- ② 取り込み先を指定するウィンドウが表示されるので、任意のファイル名を指定し、**開く(O)** をクリックします。  
(取り込み先を指定するウィンドウが表示されない場合、参照ボタン(**...**)を押すと表示されます)
- ③ 対象データを選択して **データ取り込み** をクリックします。
- ④ 取り込み終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。

**参考:** 復旧作業では、バックアップ作業時に処理対象グループで指定されたデータ以外に影響を与えることなく、バックアップを行ったデータのみを復旧します。そのためバックアップ／復旧作業を応用することで、複数のコンコンコールの間でデータを簡単に移行することができます。

## 7 こんなとき

### 1) 文字を入力する(ソフトウェアキーボード)

Windows 画面で文字を入力する際にソフトウェアキーボードを使用できます。

- ① Windows の「スタート」メニューから **すべてのプログラム(P) – アクセサリ – ユーザー補助 – スクリーンキーボード** を選択します。
- ② カーソルを入力したい場所に移動させ、文字を入力します。



### 2) 右クリック操作をする

- ① タスクトレイ上のマウスアイコンをクリックすると、アイコンが右クリックの状態となります。

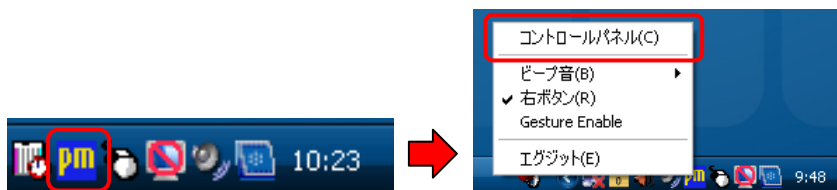


- ② この状態でクリックを行うと、右クリックとして認識されます。
- ③ 右クリックは1回のみ有効です。右クリックを行うと自動的に左クリックのアイコンに戻ります。再度右クリックを行う場合は上記手順を行ってください。

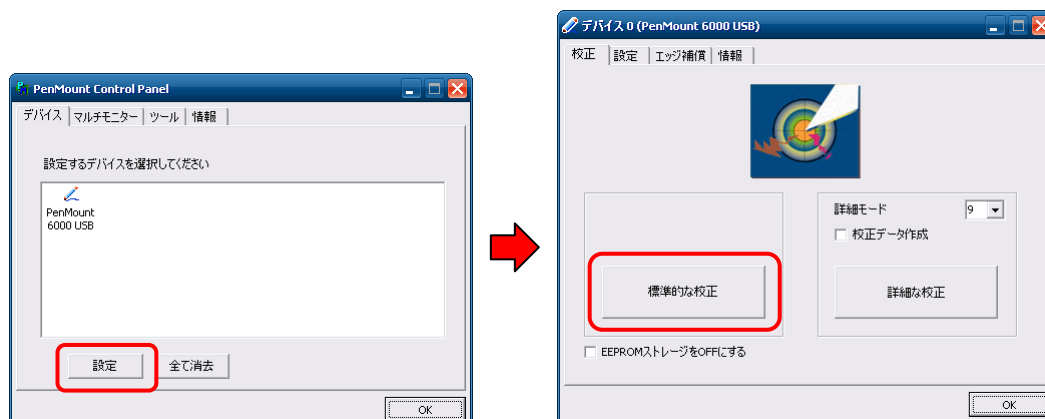
### 3) タッチ位置を補正する(キャリブレーション)

タッチした点とポイントの位置がずれている場合は、以下の手順でタッチ位置の補正を行ってください。

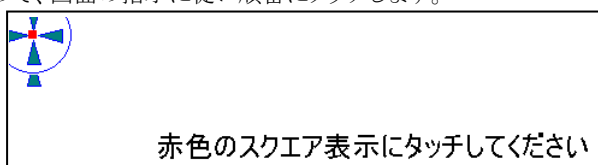
- ① ドライブプロテクトをOFFに設定します。(「3.1) ドライブプロテクトについて」参照)
- ② タスクトレイ上のpmアイコンをクリックし、**コントロールパネル(C)** を選択します。または Windows の「スタート」メニューから **すべてのプログラム(P) – PenMount Windows Universal Driver – Utility – PenMount Control Panel** を選択します。



- ③ PenMount Control Panel 画面で **設定** をクリックし、デバイス 0 画面で **標準的な設定** をクリックします。



- ④ ポイントが表示されるので、画面の指示に従い順番にタッチします。



- ⑤ **OK** をクリックし Device0 画面と PenMount Control Panel 画面を閉じます。  
 ⑥ ドライブプロテクトをONに設定します。

## 4) お手入れ



### 注意

お手入れの際は必ず電源をOFFにしてください。

電源プラグと電話回線のモジュラーコードをコンセントから抜いてください。

#### ◆ 外装清掃時

- 外装部分が汚れてきたら、中性洗剤をいれたぬるま湯(40℃以下)に浸した布を固く絞って拭き、洗剤が残らないようきれいな布で拭き取ってください。

#### ◆ タッチパネル清掃時

- タッチパネルが汚れてきたら、中性洗剤をいれたぬるま湯(40℃以下)に浸した布を固く絞って拭き、洗剤が残らないようきれいな布で拭き取ってください。

**お願い:** お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用すると変質・変色する原因になります。

(シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、科学雑巾の薬剤、クレンザー等の研磨剤入りの洗剤)

**お願い:** タッチパネルにはガラスを使用していますので、拭き取る場合はタッチパネルに過度の力を加えないように注意してください。破損の原因となります。

## 5) 「故障かな？」と思ったら

コンコンコールが正しく動作しなくなった場合は、まずこの章をお読みになり症状を確認してください。

### ◆ 起動に関するトラブル

症状	原因	対策方法
電源が入らない	電源ケーブルの接続不良	電源ケーブルがコンセントから抜けていないか、ゆるみなどが無いかな確認してください

### ◆ 動作に関するトラブル

症状	原因	対策方法
音が出ない	BGM がタイトル画面以外で再生されない	コンコンコールで BGM が再生されるのは動画画面とタイトル画面だけです。一度タイトル画面に戻してから確認してください
	スピーカーの音量が最小になっている	Windows のスピーカー音量調節ツマミを確認してください (「3.3) 音量の調整」参照)
呼び出しが出来ない	モジュラケーブルの接続不良	モジュラケーブルが抜けていないか、ゆるみが無いかな確認してください
	電話回線のダイヤル方式がパルス	本機の設定をパルスに変更してください (「3.4) 電話回線のダイヤル方式がパルスの場合」参照)
	アナログ回線でない	電話工事の施工業者にアナログ回線への切り替えを依頼してください
	内線番号が登録されていない	内線が登録されているか確認してください
通話にノイズが入る	アース線が未接地	電源コードに 3P-2P 変換プラグを使用している場合はアース線(緑色)を接地してください
ネットワークの接続が不安定	コンコンコールとパソコンを LAN ケーブルで直結している	コンコンコールとパソコンの間に LAN のハブを介すなどし、LAN ケーブルでの直結を避けてください
ポップアップ画像が映らない		



## 8 付録

### 1) 保証とアフターサービス

#### ◆ お問い合わせ先

受付案内システムのアフターサービスは、下記窓口にご相談ください。

#### 弊社営業窓口

三菱電機エンジニアリング株式会社 営業統括部

##### 東日本営業支社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-13-5 「ヒューリック九段ビル(日本地所第一ビル)」

TEL (03)3288-1108 FAX (03)3288-1575

##### 中日本営業支社

〒450-0002 名古屋市中村区名駅 2-45-7 (松岡ビルディング)

TEL (052)565-3435 FAX (052)541-2558

##### 西日本営業支社

〒530-0003 大阪市北区堂島 2-2-2 (近鉄堂島ビル)

TEL (06)6347-2969 FAX (06)6347-2983

##### 中四国支店

〒730-0037 広島市中区中町 7-32 (ニッセイ広島ビル)

TEL (082)248-5390 FAX (082)248-5391

##### 九州営業支社

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-12-14 (紙与渡辺ビル)

TEL (092)721-2202 FAX (092)721-2109

#### 技術的な問合せ窓口

三菱電機エンジニアリング株式会社

中津川事業所

〒508-0015 岐阜県中津川市手賀野 3-40

TEL (0573)66-6871 FAX (0573)66-2563

#### 保守・サービス窓口

三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社 コールセンター

フリーダイヤル 0120-225-965

(受付時間:平日9:00~17:00 土・日・祝・年末年始除く)

#### ◆ 保証書について

受付案内システムのご利用を始める前に保証書に必要な事項をご記入の上、大切に保管していただきますようお願いいたします。

保証書の紛失、記入漏れ等により弊社からお客様を確認できない場合、適切な保証を受けられなくなる場合がありますので、ご注意願います。

保証書は本書の最後にあります。

## 2) 仕様

## ◆ ハードウェア仕様

項 目		仕 様	備 考
コンピュータ	オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® Embedded POSReady 2009	
	CPU	CPU	Intel® Atom D525
		クロック	1.8GHz
	記憶領域	システムメモリ	1GB
メモリ		4GB	
表示	表示機能	表示デバイス	TFTカラーLCD
		サイズ	15 インチ
		分解能	XGA(1024×768ドット)
		表示色	262K
		バックライト	LED
	輝度	400cd/m <sup>2</sup>	
タッチパネル	フルフラット 5線式抵抗膜方式		
インターフェース	LAN	10 /100/1000BASE-TX RJ45 1ch	
	USB	USB2.0 4ch	
	電話回線	モデム用アナログ電話回線 RJ11 1ch	
	出力	無電圧a接点 1ch	b 接点への切り替え可
モデム	通信方式	全二重	
	同期方式	調歩同期式(非同期)	
	適用回線	2線式アナログ電話回線	
	ダイヤル形式	パルス(10/20pps),トーン	
	インターフェース	RS-232C	
受話器	受話音量切替	2段階	
	適用回線	2線式アナログ電話回線	
スピーカー	タイプ	フルレンジスピーカ	
	インピーダンス	8Ω	
	最大出力	1W(0.5W+0.5W)	
	周波数特性	250Hz~10,000Hz	
	スピーカー直径	50mm	
人感センサー	タイプ	赤外線反射型	
	最大使用周囲照度	30,000lx	
	検出距離	約 80cm	
電源	電源電圧	AC100V±10% 50/60Hz	
	消費電力	60W 以下(省電力モード時 17W 以下)	
環境条件	使用周囲温度	0℃~35℃	
	使用湿度	20%~80%RH(結露なきこと)	

## ◆ ソフトウェア仕様

項 目		仕 様	備 考	
動作環境	本体	オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® Embedded POSReady 2009	
		ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer® 5.5 以上	
		プラットフォーム	Microsoft® .Net Framework 1.0 以上	
		データベース	Microsoft® Jet Database 4.0	
	メンテナンス PC	オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® 2000 以上	
		ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer® 5.5 以上	
		プラットフォーム	Microsoft® .Net Framework 1.0 以上	
		データベース	Microsoft® Jet Database 4.0	
構成	管理メニュープログラム		CCCMenu.exe	
	メインプログラム		CCC1000.exe	
	メンテナンス プログラム	データメンテナンス	CCC2000.exe	
		システムメンテナンス	CCC3000.exe	
		待ち受け画面設定ツール	CCCECUST.exe	
	スケジュール運転管理		CCCSCHEd.exe	
	I/O チェッカー		ComIOCheck.exe	本体のみインストール

# システム使用許諾契約

## 第1条(使用権)

弊社は本契約により、使用者に対し使用権を与えることに同意し、使用者は以下の各条項を承諾し、この使用権を契約者以外に譲渡せず、且つ独立的な使用権を持たないことに同意します。ただし、契約者がこの使用契約書、本システムのすべての複製物および付属するすべての印刷物を譲渡し、一切のコピーを保持せず、且つ譲受人がこの契約書の条項に同意した場合に限り、契約者はこの使用契約書に基づく契約者の権利を譲渡することができます。使用者が本契約に違反した時は、弊社は使用者の使用権を終了させることができます。

## 第2条(ソフトウェアの複製)

使用者は本件ソフトウェアの全部または、一部を複製してはならないものとします。ただし、次の(1)号に該当する場合に限り複製することができます。

- (1)本件ソフトウェアの安全対策上の理由により、ソフトウェア登録カードに定める電子計算機(以下「指定計算機」という)に限定し使用する目的で複製することができます。ただし、弊社が本件ソフトウェアの複製を可能にする手当てをしてあるソフトウェアに限られます。

## 第3条(指定計算機以外での使用)

使用者はソフトウェア登録カードに定める指定計算機以外で使用しないものとします。ただし、次の各号に該当する場合は、その事態が消滅するまでの期間、指定計算機以外の計算機で一時的に使用することができるものとします。

- (1)指定計算機が保守点検、調整、故障等の作業のため使用できない場合
- (2)指定計算機の据付が完了していない場合

## 第4条(責任の制限)

- (1)弊社は本件ソフトウェアが使用者の特定の目的のために適当または有用であることについての保証はしません。
- (2)弊社は使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者の損害あるいは第三者から使用者に対する請求に対して一切の責任を負いません。

## 第5条(本件システムの仕様変更)

本件システムを使用者が改変することは、弊社の文章による許可がない限り許容しません。また弊社は使用者によって改変されたシステムに関しては一切の責任を負いません。

## 第6条(著作権)

本件システムの著作権は、弊社に帰属します。第2条に規定する複製物についても、その著作権は著作権者に帰属します。ただし、本件ソフトウェアが記録されている記録媒体は著作権者には帰属しません

## 第7条(契約期間)

本契約は使用者が本件システムのパッケージを開封した時から、下記に定める各号により効力がなくなるまで有効に存続するものとします。

- (1)使用者が本件システムの使用を終了させた時。
- (2)使用者が本契約に違反し、弊社が使用者の使用権を終了させた時。

## 第8条(海外持出の禁止)

使用者は、事前に弊社の文章による許可がない限り、本件システムを日本国外に持ち出しあるいは送付してはならないものとします。

## 第9条(終了)

本契約による使用権を終了する場合、本件システムのオリジナルおよび複製物、印刷物等のすべてを破壊するか、弊社に返送するものとします。なお、破壊および返送のためのすべての費用は使用者が負担するものとします。

# 保証書

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

本保証書は、本記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。本保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから必ずお買い上げ日、代理店名、ご住所、電話番号の記入をご確認ください。

型名	製造番号
保証期間 1年	お買い上げ日 年 月 日
お客様名	代理店名・住所・TEL・担当者
住所 〒	
TEL ( )	

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

## <保証条件>

ご使用に際しましては、裏面の製品保証内容をご確認いただきますようお願いいたします。

## 無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に、製品に当社の責任による故障や瑕疵(以下併せて「故障」と呼びます)が発生した場合、保守・サービス窓口または当社営業窓口もしくはお買い上げいただきました販売店にご連絡いただき、本保証書の記載内容にもとづき当社で製品の修理または製品交換を行います。(消耗品は除きます)なお、製品交換の場合、新品もしくは同等の再調整品となり、製造番号が異なりますのでご了承ください。

### ■無償保証期間

製品の無償保証期間は、お買い上げ日または納入日より1年間とさせていただきます。

また製品の無償保証期間は、修理前もしくは製品交換前の無償保証期間を越えて長くなることはありません。

### ■無償保証範囲

- (1) 使用状態、使用方法および使用環境などが、取扱説明書、カスタマイズ説明書、製品本体注意ラベルなどに記載された条件、注意事項などにしたがった正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。
- (2) 無償保証期間内であっても、以下の場合には有償修理とさせていただきます。
  - ① 保証書をご提示されないとき。
  - ② 本保証書の所定事項未記入、記載内容の書き換えられたもの
  - ③ お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取扱いが不適切なため生じた故障または損害。
  - ④ お客様における不適切な保管や取り扱い、不注意、過失などにより生じた故障およびお客様のハードウェアまたはソフトウェア設計内容に起因した故障。
  - ⑤ お客様にて当社の了解なく製品に改造などの手を加えたことに起因する故障。
  - ⑥ 火災、異常電圧などの外部要因および地震、雷、風水害、その他の天災地変など不可抗力による故障。
  - ⑦ 消耗品が正常に保守・交換されていれば防げたと思われる故障。
  - ⑧ 当社製品がお客様機器に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造などを備えていれば回避できたと認められる故障。
  - ⑨ 当社出荷当時の科学技術水準では予見できなかった事由による故障。
  - ⑩ その他、当社の責任外の場合またはお客様が当社責任外と認めた故障。

## 機会損失・二次損失などへの補償責務の除外など

無償保証期間の内外を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する補償については、当社は責任を負いかねます。製品の無償修理をもってお客様に対する法律上または契約上発生する当社の責任の全てといたします。

### 消耗品について

製品に使用している構成機器には、定期的に交換が必要な部品や、場合によりオーバーホールが必要な部品があります。

(バックライト、時計機能用ボタン電池)

### 生産中止後の有償修理期間

当社が有償にて部品修理を受け付けることができる期間は、その機種(製品)の生産中止後6年間です。生産中止に関しては、当社営業窓口または当社Website上にて報じさせていただきます。

### 製品仕様の変更

カタログ、マニュアルもしくは技術資料に記載されている仕様は、断りなしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 修理に関するお願い

- (1) 修理に際し、お客様のプログラムやデータが消失する場合がありますので、お客様であらかじめプログラムやデータのバックアップをお願いいたします。
- (2) 製品内に保存されたお客様の固有データ(機密情報など含む)は、製品交換などで移し変えが必要となる場合がありますが、特にご指示がない場合は、機密保持をする前提でお客様の了解をいただいたものとして作業を実施いたします。  
機密管理などが必要な場合は、データを削除するなどの事前処置を実施してください。
- (3) 不具合の迅速な復旧のため、製品(部品)の交換を行う場合の製品(部品)は再調整品となり、製造番号が異なりますのでご了承ください。
- (4) 有償修理後の修理該当箇所に対しては6ヵ月間無償保証いたします。
- (5) お客様にて上記(1)(2)の措置を実施しなかった場合は、当社は何ら責任を負わないものといたします。



#### 輸出管理に関するお願い

当システム実現するためのコンピューターやソフトウェアによっては、輸出貿易管理令別表第1の8の項、貨物等省令第7条第一号第八に該当する貨物となりますので、当システム及びパソコンを海外在住者、海外法人など非居住者に提供する場合には、外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第48条第1項に基づく役務取引許可輸出許可が必要となります。

Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows®CE は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

その他、記載されているプログラム名、CPU 名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

---

## 受付案内システム モジュールタイプ取扱説明書

発行日 2016年1月 (初版発行)

発行責任 三菱電機エンジニアリング株式会社

〒508-0015 岐阜県中津川市手賀野 3-40

---

本プログラムおよびマニュアルは無断で複製することを禁止します。

本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。

53A952A9601